

平成28年度市政懇談会（北有馬・南有馬地区）会議録

■期日：7月27日（水） ■場所：北有馬ビoyer文化センター日野江 ■参加者：30人

1. 道路標識

【意見】

- ①交差点名標識の要望を昨年し、設置していただきありがとうございます。
市内に67か所信号があるので、外部の人が分かりやすいように全部に設置してほしい。

- ②併せて青字に白の案内標識を設置され、原城行きが分かりやすくなった。
できれば、国道や県道の号線表示の下の所に、「原城行き」など、行き先を表すような表示をしてほしい。鹿児島県が実施しており、既存ポールにつけるだけで済む。よその方が安心して来れるようにしてほしい。

- ③南有馬～口之津に向かって左側（堤防側）の反射材が劣化していてみすぼらしい。破損したままのところや、無くなったり折れたりしているところがある。
また、間隔も空いているので、夜は、怖いし、暗いので、ぜひ反射材の間隔を狭くして設置してほしい。

2. 水道

- ④水道の石灰分がものすごく多いような気がする。やかんや電気ポットにもものすごく付着する。それが原因で結石がしやすい人が他の地域に比べると多いのではないか。水道が原因かどうか統計を取っているのか。取っていないなら統計をとってほしい。その結果、地域差があるようなら、何らかの対策をとっていただきたい。

【回答】

建設部長

- ①信号機の銘板ですが、県も早速動いてくれて28か所が設置済みです。まずは主要な交差点にと県にお願いしています。予算の関係上全部に設置は難しいと思いますが、まず主要な交差点ということで11か所をお願いしています。

- ②鹿児島にある分かりやすい標識については、あとで詳しく話を聞かせていただき、県に話してみたいと思います。

- ③反射板については、改善していただくように県に伝えます。

水道部長

④通常、定期的に水質調査をしています。基準値より数値が高いときは、すぐに連絡が来るようになっていきます。石灰質が多いというのは初めて聞きました。水道の水質は基準値内ではありますが、石灰分が多いというところがないか、持ち帰って確認をします。

市長

安心して飲める水でなければいけません。担当で確認させます。

【後日回答】

建設課

②案内標識の設置については、既存標識の管理者である長崎県と相談し、標識の設置については、関係部局と協議いたします。

③道路反射板については、道路管理者である県に報告をいたしました。

上水道課

④白い付着物は、水道水の中に含まれるミネラル分で、問題ありません。

また、市政懇談会で水道部長が答弁したとおり、定期的な水質検査も実施しており、水質上の問題もありません。

統計については、それぞれの水源で水質検査を実施し、水質上の問題はないため、必要ないと考えます。

3. 道路整備

【意見】

坂上バス停から少し上った大きなカーブのところで、水道を敷設してもらったが、その底の部分が流れて陥没しているところがある。その反対側も道路の舗装がはげて陥没している。先日、私の前を走っていた女子高生のバイクが陥没部分でバランスを崩し倒れた。

けがしたら大変なので、仮舗装でもいいので早急に修繕してほしい。

前谷の自治会長からは、何度も要望は行っていると思うが、早急をお願いしたい。

【回答】

建設部長

事故があったということで、確認はしていると思いますが、早急に対応します。

【後日回答】

建設課

現地に出向き状況確認後、舗装の損傷区間の修繕をお盆前に終了しております。

4. 農業支援

【意見】

ワイヤーメッシュの件ですが、ここ3、4年で受益3戸以上で申請できる部分は、ほとんど終わった。あとは受益が1戸のところしか残っていないので、要件を緩和できないのか。

【回答】

農林水産部長

国の補助を受けているので、3戸以上という制限があります。そこだけ残っているのであれば、既にワイヤーメッシュを設置されているそれぞれの地区の組織に加えるという形で対応できないか県と相談したいと思います。

5. 災害対策

【意見】

6月20日の大雨の件で、谷川、三尺町、本町が浸水した。浸水が短時間であったことは良かったが、市役所の少し下にある有馬川の堰がなかなか倒れなかった。

堰が倒れたら水が引いた。どうして倒れなかったのか。

堰は水利組合の管理ということで、市役所の職員に水利組合の連絡先を尋ねたが、連絡先を知らなかった。連絡先が分かれば、すぐに連絡して堰を開けられたと思う。

今回のことは、人災的な部分があったと思う。谷川は何件も被害に遭っている。

【回答】

農林水産部長

有馬川の水利組合という形で、受益者が25名程度、面積が5haあり水田等を作付されている方々が、可動堰を利用されています。

今の可動堰は、昭和40年代に県が改修した際の補償工事で、工事の関係でどうしても可動堰にしてほしいとの県の要望で今のような可動堰になったと伺っています。

当時、水利組合と県の話については、昭和40年代の話で、書類も残っていません。

本来は可動堰の30センチを超える水量になったら自動的に堰が倒れるようなシステムですが、老朽化により倒れません。よって、手で管理の方が機械室に行きスイッチを

押し油圧を抜き倒すという対応で今までこられております。

災害が起きないように指導等を含め、今後こういうことが2度と起きないように県の補助をいただいて可動堰の修理ができないのか、検討しているところです。

【意見】

一般の人が川を見て危ないと思った時の通報はどうなっているのか。大雨の時に職員に聞いたが誰一人知らなかった。最近の雨は一極集中で降る。その時、気づいた人が市役所に言っても、水利組合に通報ができない。連絡の方法は、どうなっているのか。組合以外でも、現場に一番早く行った人が気づいて通報するような取り決めをしてもらいたい。

【回答】

農林水産部長

今のところ、農林水産部が気づいて管理者に通報するような体制はできていません。自主的に水利組合の人で管理していただいています。水利組合からは、今後は、カギを1人だけではなく、各班の班長が持つようにしてお互いに気づいたときに対応するように改善するとの話を聞いています。

【意見】

危険な状態にもかかわらず、連絡がつかないという状況ならば、連絡体制はすぐにできるのではないかと。人命第一を考えると、まずそれを回避するのが第一である。明日から話ができるのでは。

【回答】

市長

今回の災害を教訓として、25名の方が班ごとに班長がカギを持って対応してもらおうという考えのようです。

今回の大雨被害は教訓になったと思っています。私たちも他人ごとではなく、市民の生命を守るのは行政の一番大事なところであり、私たちも無関心ではられません。

【意見】

市民から市役所が連絡を受け、市から班長さんに連絡をするという、連絡のシステムを作るのが大事ではないのか。

【回答】

市長

気づかれた方が、市へ連絡して対応できるようにする連絡体制はしっかりととっていくことは市の役目だと思っています。

【意見】

皆さん、その答えが聞きたかったと思います。

【回答】

農林水産部長

北有馬支所長と話をし、代表者及び班長の電話番号を控えて住民等から連絡があれば職員が水利組合へ連絡して対応していくようにします。市民の方が、気づかれた場合でも同様にと考えています。

【意見】

堰が動かないのは現実なのか。手動でしか動かないのか。その管理を水利組合がきちんとしていれば、簡単に動くと思う。人命が関わっているのであれば、水利組合とたまには一緒に回って確認し、堰が水利組合の持ち物であれば管理体制をきちんとしほしい。

【回答】

農林水産部長

有馬川の堰は手動で動きます。

【意見】

市から言うべきことはきちんと言ってほしい。

【回答】

農林水産部長

連絡体制を整備し、農林水産部と支所と連携をとり、きちんと言ってきたと思います。

6. 災害対策

①豪雨に対する危機管理について、西田平の田平小学校跡の造成地に住んでいますが、その一時避難所が西田平の公民館となっている。公民館までの道は3本あり、そのうち1本は、30、40度の急斜面であるため豪雨の時は行けない。

また、川沿いの道は、豪雨の時は川が氾濫して通れないし、今回はがけ崩れが起こっている。もう1本の県道に出る道は横に農業用水路があり、先日は、その水路が溢れて道なのか水路か見分けがつかず通れなかった。先日のように夜であれば、とてもではないが避難できない。

すぐ近くに住民センターと体育館はあるが、そこが一時避難所にならないのか。

市の避難所である老人福祉センターまでは2kmぐらいあり、そこまで行けない。その辺も含めて考えてほしい。

7. 世界遺産

②今回、世界遺産から外れた日野江城跡の22段の階段遺構ですが、1年間ほどは掘り起こして調査されていたが、期限がきたという事で、埋め戻された。どういう話で埋め戻したのか。日野江では唯一見える資産だったので、その良さを見せるべきではないか。

③また、雑草が生えて非常にみすばらしいので、定期的に草刈りをしてほしい。

8. 廃校活用

④廃校の利用について、ほとんどの学校が鉄筋に変わっている。よく皆さんが利用しているところは、木造の方が利用価値があると思われるが、鉄筋は鉄筋の良さがある。部屋もきちんと分かれていて、廊下もあり、手洗いもある。給食室もある。設備が十分ある。その利用を是非、考えてほしい。また、中の備品はどうなっているのか。他の市町村では、芸術家の卵を集めて芸術村にしているところもある。そういうことも考えてほしい。

【回答】

市長

①避難所の件ですが、今回の大雨や地震を振り返ってみると、それぞれの地域に元小学校や体育館などの施設があるので、もっとその辺も活用して、地域の方があまり移動しないで避難できるように仕組みを構築し直さないといけないと思っています。

②また、日野江城跡の階段遺構を埋め戻した件ですが、埋め戻すかなり前に、何とかして埋め戻さずに見せる方向で国に話をするように指示をしたが、やむなく埋め戻すことになりました。

教育次長

②日野江城跡の階段遺構について、市長の思い、地域の思い、私達もそのように思っておりました。国の方にも県を通じて何回となく、期間を延ばしてほしいと申し入れをしました。

調査のために上屋をかけて露出していたため、期間の延長を申し入れましたが、延長はできないとのことで、埋め戻した状況です。

専門家の意見も拝聴し、どうにか露出展示ができないか、部分的にでもという思いで協議を重ねていただいたが、現段階では、結論に至っておりません。

ある先生は定期的に見せるという方法もあるのではないかとのご意見もいただきました。そういうことも含め、どのように史跡を守っていくのか、また、みなさんにお披露目できるのか検討していきます。

③原城跡と日野江城跡と定期的に草刈りの作業員さんに交互に刈ってもらっていますが、期間が開いたりすると草が生えていることもあります。

今、管理の委託契約をするように進めています。すべての部分を刈り上げることは難しいが、通常見ていただく部分と少し離れた部分との区別をしながら、適正な管理に努めていきたいと思います。

④学校の廃校利用ですが、おっしゃったように鉄筋コンクリートの部分についても活用する部分があると思っています。今、いくつか引き合いがあっていますが、正式にこの場所をこのようにと決まっている部分は少ない状況です。

古園小学校は、福祉法人が校舎を施設として利用し、グラウンドについては借り上げて施設を造るということです。

梅谷小学校は、今、島原中央高校の野球部が今回の地震によって、今までの寮が危ないとのことで、梅谷小学校の校舎を使って野球部員約30人が寮として借用をされています。

そのほかは、これからです。引き合いがあれば、地域の方とも話をしながら進めて行きたいと思います。

総務部長

①各町の避難場所は合併前から指定してあったものを現在も指定しています。北有馬地区の防災マップを持っているが、体育館と田平住民センターが西田平地区の避難場所にならないかとのことですが、きちんと指定されています。

今回、地震であったり、大雨であったりと今まで経験したことがないような災害が身近に感じるようになりました。

今までは、避難も台風の時ぐらいしかありませんでしたが、避難の指定をしている以上

は、きちんとそこに行けるように、避難ができるように整備をさせていただきます。

9. 災害対策

【意見】

今の件について、体育館の鍵、住民センターの鍵を施設の近所の方で預かってくれる方が中々いない。よって、体育館や住民センターを借りる場合、ピロティーまで鍵を借りに行かないといけないと聞きました。

今、避難所の話がありましたが、もしホテル平の住民の方で、持回りなどで鍵の預かりをしていただければ、災害などの際に、その鍵ですぐに避難所へ移れるのではないのでしょうか。

【意見】

そのような話は来ていない。

【意見】

今までは、そうでしょうが、そういうことも検討していいのではないかと思ひ提案です。

【回答】

総務部長

今のことについては、そういったことも含めたところで、今後、どういったやり方がいいのか、検討をしたいと思います。

10. 世界遺産

【意見】

①世界遺産のことについてですが、先ほど市長は原城跡と日野江城跡は一体的に整備したいと話されましたが、私はそれだけでは南島原市全体の取り組みとしては、弱いのではないかと思います。

やはり、深江から加津佐までが係るような取り組みを進めていただきたい。

例えば、キリシタン墓碑問題も含めてです。そうでないと、南有馬と北有馬だけが取り組みが進められて、他の地区の皆さん方に真剣に取り組んでいただけないのではないかという気がします。

原城跡だけ、日野江城跡だけではなくて、市内全域に関わるような取り組みを進めていただきたい。

先日、西有家小学校の6年生がキリシタン遺産記念館と原城跡、日野江城跡を見学に来

ました。それで同行したのですが、子供たちの感想文を一人一人読ませていただきました。ほとんどの子供たちが初めて来た、初めて見たと書いていました。西有家小学校の見学は商工観光課の取り組みでした。

小学校には、いろんなカリキュラムがあると思いますが、何らかの形で南島原市の歴史遺産についての取り組みをしてほしい。カリキュラムは各学校が編成するわけですが、何らかの形で教育委員会も取り組んでいただきたい。

少なくとも市内の全小学校が、地域の歴史遺産に触れる機会を作っていただきたい。

11. 学校教育

②学校が少なくなりました。統廃合でそれなりの教育効果があると思いますが、子供達自身が交流する場が少なくなっている。競い合って伸びるという事が少なくなっている。子ども達が地区の人とふれあい、他の学校の人と競い合うことによって高まるということも考えていただきたい。

12. 生涯学習

③長崎県ではいろんな美術や音楽関係の催しがあるが、その中に南島原市という名前が中々出てこない。10年経つので、南島原市もそのような文化的な偉人が居たんだという事を示すためにも、市として教育委員会が旗振りをしてもらいたい。

【回答】

教育長

①最初の歴史のことについてですが、小学校には総合学習という時間が取れます。市で副読本を作成し、全生徒に配布して授業をしていただくように各学校に申し出をしております。

その中で、実際に現場を見に行っただろうか把握しておりませんが、地元の教職員が編纂したテキストをもとに、地域を知るという形で小学生にその副読本を配布して情報提供をする機会を作っております。

地域をもう一度見てまわることによって、再度地域を知るような仕掛けを教育委員会の方で提案してみたいと考えます。

②競い合うという事ですが、例えば北有馬では数校あった学校を統合して10年ほど前に1校になり、町内で競い合うという機会が無くなったということだと思います。

ご指摘のように、いろいろな形の競い合い方があると思っています。

少し大人数になった学校の中で競い合ったり、コミュニケーション能力を高めたり。

ご提案については、音楽会や旧自治体の枠を超えた出会いの場で取り組みをさせたいというふうに考えます。

③現在、南島原市教育委員会が主催する美術展がいくつかあります。「セビリアの聖母」が南島原市で制作されました。これをゆかりに、版画展を全国に公募して実施し、昨年は1万を超す応募がありました。遠くは東北から応募がありました。

また、北村西望さんや古野さんという偉人が南有馬から出ておりますが、この方々の名をとって「北村西望賞教育美術展」並びに「古野賞科学技術展」ということで美術展・科学展を行っております。

それから、昨年で終了しましたが、学童美術展なども実施しておりました。まだまだ周知徹底が足りないと思いました。

今後、アドバイスいただいたようなことを通して、もっと市民の皆さんに、子どもたちが活躍しているという事や、そういう場面で学習に掲げているということを周知していきます。

教育次長

①深江から加津佐までのすべての地域において、世界遺産の取り組みをというご提案ですが、実は歴史文化遺産群という位置づけをという事で、当然、世界遺産になった構成資産、それと構成資産に最初上がっていましたが、何らかの理由で外された資産、そして、今おっしゃっていただいたキリシタン墓碑を含めたところで、歴史文化遺産群という形で県と関係市町で一体となり取り組んでいくように県に要望をするようにしております。過日、中村知事もそのような趣旨で発言をされたという風に認識しております。今後、そのようなことに向けて、私達もできるだけ努力をしていきたいと考えているところです。

13. 商工観光

【意見】

①市長の説明の中で、空き家や空き店舗の利活用について話がありましたが、どういう目的のものなのか。私としては、世界遺産に向けたまちづくりをしていく中で、観光客のおもてなしという形の再利用を考えていただきたい。

持ち主がいないとか、後継者がいないなど難しいと思いますが、念頭に入れていただき再利用を考えていただきたい。

14. バス停

②もう1点は、国道のバス停の上屋の整備をしていただきたい。県の方に伝えていただきたい。上屋がなくてみすぼらしいまちのように感じる、キャンバスが破れたり、イスが壊れていたり、そのままの状態である。新しい歴史のまちというふうにしていただきたい、そういうことも考えてまちづくりをしていただきたい。

【回答】**企画振興部長**

①空き家、空き店舗の件ですが、空き家については地域外からの移住に重点を置いて進めております。空き店舗につきましては、ご指摘のように地域の活性化に向けて改めて再利用してもらえようと商工会とタイアップして行っております。

建設部長

②バス停の上屋の件ですが、バス停は市が作り、県はバスがバス停で渋滞にならないように退避する部分（バスベイ）を作るとなっております。よって、上屋は市が作るという事でやっております。

言われてみて、本当にそうだなと思いました。今まで島原鉄道の廃止でバスが主になったという事で、市になって新しいバス停を作ってきました。原城のバス停も今度新しく作るようにしています。そういった目線だけでしたが、今言われるようにバス停の補修なども必要だと思いますので、今後、計画的に行っていきたいと思っております。

【後日回答】**建設課**

傷んだバス停の上屋を確認し、所有者である島原鉄道へ連絡いたします。